

製品名: GNL3L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11562**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、マウス、猫
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	66kDa

抗原情報

遺伝子名	GNL3L
別名	GNL3L; Guanine nucleotide-binding protein-like 3-like protein
遺伝子 ID	54552.0
SwissProt ID	Q9NVN8
免疫原	抗血清はヒト GNL3L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

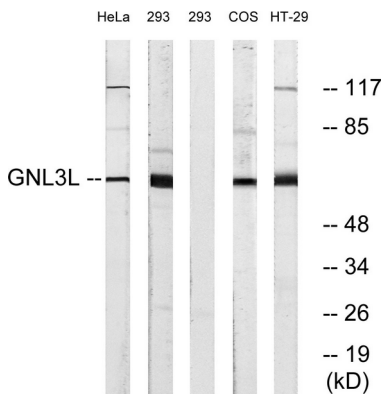
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、リボソーム pre-rRNA のプロセッシングと細胞増殖に必須の核小体 GTPase であると考えられます。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010 年 5

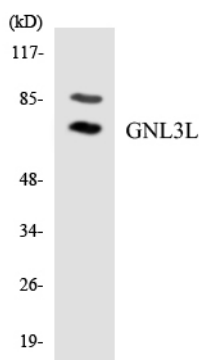
月],ドメイン: 他の GTP 結合タンパク質とは対照的に、このファミリーは G4-G1-G3 パターンで表される GTPase モチーフの循環置換を特徴とします。機能: リボソーム pre-rRNA の正常なプロセシングに必須です。細胞増殖に必須です。GTP と結合します。類似性: MMR1/HSR1 GTP 結合タンパク質ファミリーに属します。、

研究分野

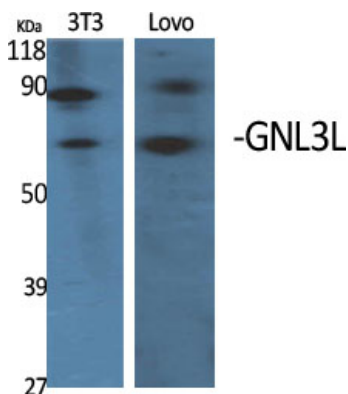
画像データ



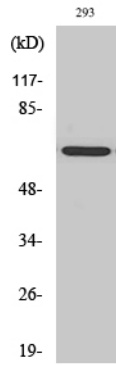
GNL3L 抗体を用いた 293 細胞、HeLa 細胞、HT-29 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



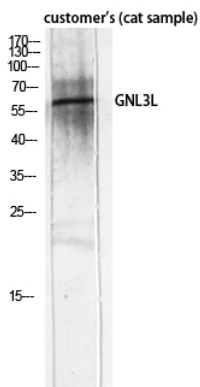
GNL3L 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



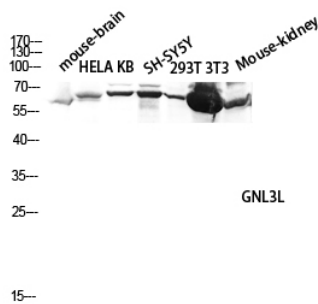
1: 2000 に希釈した GNL3L ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット解析。



1: 2000 に希釈した GNL3L ポリクローナル抗体を使用した HT29 細胞のウエスタンブロット解析。



1: 2000 に希釈した GNL3L ポリクローナル抗体を使用した、お客様 (猫サンプル) のウエスタンブロット分析。



GNL3L 抗体を用いたマウス脳 HELA KB SH-SY5Y 293T 3T3 およびマウス腎臓溶解物のウエスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。